

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○平成28年7月14日

東日本大震災後被災地を支援するチャリティーバザー

東日本大震災後、毎年被災地を支援するチャリティーバザーが行われています。生徒はスタッフと協力し積極的に活動できました。

○平成28年8月18日

平和と未来遺産広島スタディツアー

昨年戦後70年を迎え、過去を風化させないため、そして後生に平和の尊さを伝えていくために記念事業として被爆樹の植樹が行われました。このツアーには本校生徒2名・教員1名が参加しました。

今年5月にバラク・オバマ大統領が現職のアメリカ合衆国大統領として初めて原子爆弾が投下された広島へ訪問し核兵器の廃絶を訴えました。ユネスコ憲章の前文には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」と記されています。昨年8月も、徳島ユネスコ協会主催の「広島スタディツアー」に参加しました。広島市を訪ね、被爆樹を(被爆で傷を負いながらも成長を続けた樹木の苗木)入手し、鳴門市に植樹を行いました。そして、この平和への取り組みを継続し、本年も広島スタディツアーに参加しました。今回は第5回プロジェクト未来遺産に選ばれた阿波人形浄瑠璃平成座による人形浄瑠璃を被爆者が入園されている原爆養護ホーム「舟入むつみ園」で慰問上演されました。被爆樹木と人形浄瑠璃、ふたつのユネスコのプロジェクト未来遺産が地域や年齢を超えた心と心の交流を実現しました。この機会を通じて、改めて、現在の平和と繁栄を築いてくれた先人に感謝するとともに、平和の尊さを考えることができました。

○平成28年11月12日・13日

わたしたちの町たからもの絵画展のためのボランティア

今年も徳島県の小学校や中学校の生徒の皆さんが自分の町や村の行事や風景を競って描いた絵画展が行われました。全県から千点近くの作品が寄せられ、それを専門の審査員が優秀作を審査し、展示表彰されます。このボランティアは昨年も行いましたが、毎年明るく楽しくなる作品ばかりで、お手伝いできることがとても楽しいです。

○E S D 持続可能な開発のための教育

① 地域の防災力向上の取り組みに高校生が参画するための防災教育

避難所となる学校を意識し地域の方と連携しながら、専門高校ならではのものづくりの技術力や、無線通信の知識・技術・行動力をいかした防災活動を展開しています。近隣住民の方からも「学校が防災訓練の機会を作ってくれてとても心強い」との評価をいただくとともに、幼稚園の方からは「ぜひ、毎年実施してほしい」との要望があります。生徒がこの活動で近隣住民の方や園児と接することで地域や人とのつながりを深めることができます。持続可能な防災活動として、継続的に毎年続けていくことが大切だと感じています。

② 生物多様性や海洋資源の保護など地域に貢献する環境活動

○カワバタモロコの保護および保全繁殖活動

国のレッドデータブック絶滅危惧種I Bに指定されているカワバタモロコの繁殖を行っています。譲り受けた100匹を1年間で約200匹までに増やしています。また、県や企業等の関係者が集まるカワバタモロコ連絡協議会にも参加し、本校の取り組みの紹介や意見交換を行っています。

○わかめの二期作

地元漁協や県水産研究所の指導の下、色や食感の良い高品質のわかめを養殖しています。収穫したわかめを、湯通し塩蔵わかめに加工し、県ビジネスチャレンジメッセ、県産業教育展、文化祭等で鳴門わかめと科技高ブランドわかめ「こはねちゃん」として、配布しています。

また、食品開発として、茎やめかぶの酢漬け・カットわかめ試作にも取り組んでいます。

③ 東日本大震災の被災地への支援活動

とくしま森とみどりの会、徳島ロータリークラブ、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの協力を得て、生徒が課題研究・実習・部活動で製作した、木馬や椅子・スツール・丸太ベンチ・本棚・カフェパネル等の木製を寄贈しています。

これからも被災地とのつながり、絆をさらに充実させ、被災地の復興支援とともに、防災意識と実践力を持った生徒の育成に努めていきます。

④ 地域の環境向上に地域住民と高校生が連携して取り組む環境教育

地域の方と連携しながら、毎月1回地域の清掃活動を行っています。放課後の時間を利用し、周辺道路際歩道の清掃や近隣の駅舎、神社等公共施設の清掃活動を行っています。希望者を募った参加となっていますがクラスや部活動を単位として毎回200名から300名程度の生徒が参加しています。専門高校として勤労観を得るとともに近隣住民との関係構築にも役立っています。近隣住民の方からも大勢の若い方の支援で地域が美しくなり大変感謝しているとの評価をいただき今後も一緒に取り組みたいとの要望があります。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）